

みんなの けいびょうニュース

2017.10
vol.31

Topics



創立80周年記念



当時をふりかえる大阪警察病院

～新館竣工後編～

脳神経外科より



手術と整容性 きずあと
～目立ちにくい傷痕へ～

クローズアップ部門

ハートチーム・心臓リハビリテーションチーム&
看護禁煙サポートチーム

けいびょうの **医**

乳がん看護認定看護師



作業療法士

Pick up



わかれば簡単! 医療用語



けいびょうニュースダイジェスト

Keibyo
News



80th Anniversary



1993
2017



創立80周年記念


当時をふりかえる大阪警察病院 ～新館竣工後編～

前号では、新病院竣工までの歴史を建物を中心にふりかえりました。
今回は、それ以降現在に至るまでの当院の躍進をあます所なくお伝えします!!

2014

米国救急医による大阪大学関連病院ER教育開始

2014年10月、大阪大学医学部附属病院高度救命センター協力のもと、「米国救急医による病院ER教育」がスタートしました。当院研修医はアメリカのER指導医より、本場のレクチャーを受け、より一層診療技術の向上を図っています。




その他TOPICS

- ・大阪ストップ温暖化賞「節電賞」受賞
- ・ウロギネセンター開設
- ・お薬センター開設
- ・DPC II 群病院認定継続

2010

地域医療支援病院認定(大阪府指定)

2010年11月19日、周辺地域の医療機関や医師会など関係機関からの多大な協力のもと、地域へ積み重ねられた実績と信頼関係が評価され、地域医療支援病院に承認され、地域全体で患者さんを治療していく体制が強化されました。




その他TOPICS

- ・リソースナース室開設
- ・手術医療センター開設
- ・診療支援センター発足
- ・ウェブサイト全面リニューアル

2006

7対1看護体制導入

2006年5月、7対1看護体制を導入しました。この制度は2006年の診療報酬改定で新設された「患者7人に対し看護職員1人を配置する」というもので、導入後は、従来にも増して手厚い看護を提供できるようになり、より多くの患者さんを受け入れる体制が整いました。



その他TOPICS

- ・セカンドオペニオン外来開設
- ・DPC(包括支払制度)導入
- ・第6代院長 佐藤信紘就任
- ・病院敷地内全面禁煙
- ・ナースキャップ廃止

1993 ▶▶▶ 1996

新病院の竣工

創立以来、50有余年の歳月が経過し、老朽化が進んだ当院でしたが、ついに1993年4月に新病院が竣工しました。ベッドは580床となり、三次救命救急、臨床研修指定病院、屋上ヘリポートなど多くの特色を備えた近代的な総合病院に生まれ変わりました。




その他TOPICS

- ・第4代院長 伊藤昭和就任
- ・地域医療連絡室開設
- ・内視鏡検査室完成
- ・阪神淡路大震災被災地へ医療看護班派遣

2015

365日リハビリ実施体制

患者さんの機能回復推進のため、セラピストの増員や診療スペースの拡大を行い、日・祝日問わずリハビリを実施できる体制が構築されました。この取り組みにより、患者さんのADLの向上と入院期間の短縮が実現しました。



その他TOPICS

- ・ドクターカー導入

2011

DMATによる被災者支援

2011年3月11日、東日本大震災において当院医師、看護師、現地調査員で組織されたDMAT隊(災害時救援部隊)を派遣、岩手県立釜石病院にて救急診療を行い、また、不足していた医療物資の提供、義援金の援助を行いました。



その他TOPICS

- ・神経内科および脳卒中・神経センター開設
- ・クールピズ運用開始

2007

電子カルテの運用スタート

医療界のIT化の波をうけ、2007年5月に電子カルテを稼働させました。紙カルテに代表される従来のアナログ形式からの脱却に職員は戸惑いながらも努力と工夫を重ね、より効率的な医療が実現しました。



その他TOPICS

- ・第7代院長 越智隆弘就任
- ・エコロジーガーデン導入
- ・創立70周年記念祝賀会開催
- ・院外調理学システム導入

1997 ▶▶▶ 2001

大阪警察病院 看護専門学校3年制開校

医学の進歩に伴い、看護職にも専門的な知識や技術、幅広い人間性が要求されるようになってきました。これに伴い、看護専門学校は、従来の2年課程を3年課程へ改め、1998年2月19日、阿倍野区松崎町に大阪警察病院看護専門学校新校舎が完成しました。




その他TOPICS

- ・第5代院長 中尾量保就任
- ・病院機能評価認定
- ・消化器内視鏡医療センター発足
- ・クリニカルパス導入

2016

ハイブリッド手術室稼働

さらに高度で低侵襲な手術医療を提供できるよう、ハイブリッド手術室を設置しました。従来、別室で行われていた血管内治療と外科的手術が同じ手術台で行えるようになり、2016年11月の稼働以降、複数の科で活用しています。



その他TOPICS

- ・脊椎・脊髄センター開設
- ・救命救急センター改修工事
- ・周術期管理システム導入
- ・ウェブサイトリニューアル

2012

DPC II 群病院認定

厚生労働省よりDPC対象病院における機能や役割に応じた病院群指定について、当院は大学病院に準ずる高い診療機能を有するII群に分類されました。質の高い、高度急性期医療機関を目指す当院にとって大きな一歩となりました。




その他TOPICS

- ・創立75周年記念祝賀会開催
- ・第1回院内災害総合訓練実施
- ・リボズハウス開設

2008

大阪府ドクターヘリ患者搬送先医療機関指定

2008年1月17日、救急患者の救命率向上と医療救護活動の充実化を目的とした大阪府のドクターヘリ運用に伴い、三次救急医療機関である当院は大阪府の「ドクターヘリ患者搬送先医療機関」に指定されました。




その他TOPICS

- ・ER・総合診療センター体制構築
- ・手術室2室増室
- ・大阪府災害拠点病院指定取得
- ・国指定救命救急センター認定取得

2002 ▶▶▶ 2005

センター化構想と 集学的医療体制の構築

医療の質の向上を最優先課題とした当院では、地域医療連携センター、呼吸器センター、医療安全管理センター、感染管理センター、化学療法センターを相次いで開設、各部門をセンター化することで、21世紀に生き残る病院づくりを進めました。



その他TOPICS

- ・けいびょうニュース創刊
- ・大阪警察病院付属人間ドッククリニック開設
- ・新臨床研修医制度開始

2017

創立80周年記念式典開催

2017年9月16日、創立80周年を記念して、記念式典を開催しました。また大阪警察病院の歴史や各部門の寄稿文を編集した記念冊子も発刊されました。院長 越智隆弘は、「これからも「愛・熱・和」の理念のもと患者さんに寄り添う医療を提供してまいります」と結びました。



その他TOPICS

- ・ER・救命救急センター体制強化

2013

手術支援ロボットダヴィンチ導入

年々増加する前立腺がんに対し、手術支援ロボット「ダヴィンチサージカルシステム」を導入しました。当該システムを使用した手術では、繊細な縫合が可能となり、出血量の減少や根治率の向上に繋がりました。




その他TOPICS

- ・文書窓口開設
- ・エコ記念樹の植樹
- ・法人名の変更
- ・コードブルー・コードホワイトの運用開始

2009

病院機能評価認定

病院機能の第三者評価である病院機能評価Ver.6(当時最新)を更新受審し、当院が日本で最初の認定病院となりました。患者満足度を第一に考えた職員のホスピタリティマインドと高い医療水準が評価されることとなりました。



その他TOPICS

- ・放射線治療科新設
- ・エコアクション21認証取得
- ・大阪府がん診療拠点病院認定取得

Point 2 後々の傷痕までを考えて…

頭蓋骨は手や足の骨と異なり、一旦切り離すと元に戻しても完全にはくっつきません。以前は開頭手術の時にくりぬいた頭蓋骨(骨弁)は元の位置に絹糸で縛って固定していました。初めの数ヶ月は良いのですが、1年くらい経過すると大気圧に負けて骨弁全体が陥没してくるため、現在ではチタンという金属でできた小さなプレートで骨弁を頭蓋骨に強固に固定することで、骨弁の陥没を防ぐことができるようになりました。しかし、骨弁を作成する時にできる頭蓋骨の切りしろ(2~3mm程度)が、時間の経過とともに線

状に陥没していきます。さらに血流を失った骨弁が痩せてきたりすると一段と目立つようになることもあります。最近では、額などの目につくところの開頭の時には骨弁と頭蓋骨の隙間をペースト状の骨充填材で埋めて後々凹まないように配慮しています(図4)。

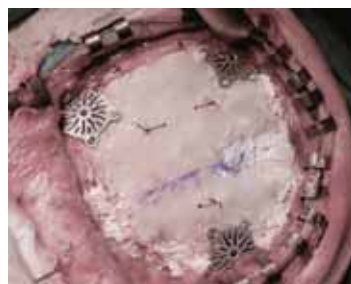


図4

Point 3 皮膚の血管を傷つけないようデザインする

頭皮の切開創の治癒には皮膚の血流を保つということも重要です。何も考えずに皮膚切開のラインをデザインしているではありません。頭皮は主に浅側頭動脈と後頭動脈によって栄養が運ばれており、なるべくそれらの動脈を損傷しないように意識しています(図5、6)。頭皮は側副血行路もよく発達しているため、皮膚の血流があまりに低下すると皮膚潰瘍が生じたり、万が一そこに感染を起こして化膿すると非常にその治療が困難となります。

また、チタンプレートは金属製であり、血の通わない物質のため、創の治癒の妨げにならないよう切開創の直下にチタンプレートがこないような配慮も必要です。



図5



図6

Point 4 ナビゲーションシステムを導入した手術

脳の手術を行うのに、必要最小限の開頭で行うことは実際にはかなり高い難易度となります。脳は頭蓋骨で覆われており、肉眼でその中を透視することができないため正確な病変の位置が外からは見えないのです。大きな開頭を行うのであれば、あまり問題になりませんが、開頭を小さくする場合、その位置がずれると脳の操作そのものができなくなってしまいます。適切な位置を開頭するために当科ではナビゲーションシステムという装置を用いることがあります。本来は脳の中で迷子にならないための装置ですが、開頭の位置決めにも活用できます。そうすることで最小の

開頭、最小の皮膚切開で患者さんに負担の少ない、そして整容面にも配慮した手術が行えます(図8、9)。

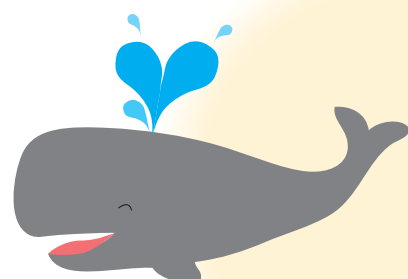


図8 ナビゲーションカメラ



図9 モニターを確認しながら手術を行う

私たち脳神経外科では、低侵襲かつ安全な手術を提供するように日々研鑽しています。普段はどうしても脳の手術のことが説明の中心となり、あまり整容面について詳しくお話しすることはありませんが、常に傷痕を含め整容面についても気を配っています。



脳神経外科より

手術と整容性

きずあと 傷痕へ ~ 目立ちにくい傷痕へ ~



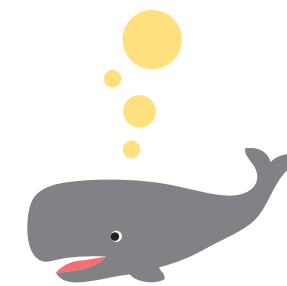
部長 米澤 泰司

「整容^{せいよう}」とは本来、「身だしなみを整えること」ですが、近年、脳神経外科では手術後の傷痕にも責任を持ち、脳の手術だけではなく術後の傷痕までを一つの治療とする「整容」脳神経外科という考え方が浸透してきています。いくら難しい脳の手術に成功しても額に傷痕が残ったり、頭蓋骨が陥没・変形したり、顔や頭の筋肉が痩せたりすると、後になって患者さんの満足度が低下し、抑鬱な気分になったり、生活の質の低下に繋がります。

当院でも神経内視鏡手術(図1)や脳血管内手術に代表されるように、より低侵襲な医療を提供できるように努めており、術中ナビゲーションや術前にシミュレーションを行うことでより正確に、より安全に手術が行えるようになってきました。さらに術後の皮膚の傷痕を目立たないように、筋肉や頭蓋骨もなるべく手術前の状態に近づけるように工夫しています。当科での取り組みも踏まえて「整容脳神経外科」について少しご紹介させていただきます。



図1 神経内視鏡手術 (軟性鏡を用いた手術)



マッコウクジラは、地球上で最大の脳を持っている動物です。

Point 1 毛根に配慮した切開

脳の手術を行うには、まず頭皮にメスを入れ開創した後に、頭蓋骨を切って開頭する必要があります。頭皮の切開は小さい程傷が目立たないですが、小さくても有毛部の外、例えば前額部に傷が残ることは極力避けるようにデザインします。万が一、有毛部の外に皮膚切開が出てしまう時には、なるべく皺(しわ)の線に沿うようにします。皺に沿った切開線は創にかかる負担が少なく、術後の癒痕^{はんこん}拡大を防ぐことができるからです。

しかし、有毛部であっても後で髪が生えると分からなくなるためどう切っても良いと言うわけでもありません。毛根の損傷を防ぎ切開創周囲の脱毛を防ぐために頭皮に垂直ではなく、なるべく毛根に平行に切開するようにしなければいけません。髪の毛は部位によって毛髪の生える向き(毛流)が異なっており、術後の傷痕を目立たなくするには毛流に平行した皮膚切開を行うのが良いと考えられています(図2、3)。

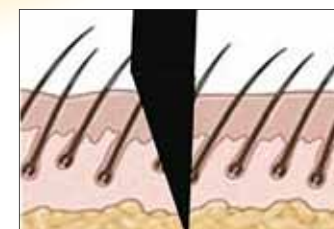


図2 毛根を痛めるような垂直な切開



毛根に優しい毛の流れに平行な切開



図3 術後の傷痕

※癒痕(はんこん):外傷・手術・やけどの後にみられる傷痕のこと



看護禁煙サポートチーム

文:呼吸器センター 副師長 今村 玲子

クローズ

ご存知ですか?

警察病院には31診療科をはじめ、外来・病棟や医療チームなどたくさんの部門があります。このページでは様々な部門にスポットを当ててみたいと思います。

アップ 部門

Close Up Department



ハートチーム・心臓リハビリテーションチーム

文:循環器内科 医長 林 隆治

禁煙外来をご存知ですか?

当院では、日本禁煙学会が認める禁煙専門看護師と禁煙認定看護師が在籍しており、医師と協力し禁煙の啓発活動や禁煙外来での指導を行っています。

看護禁煙サポートチームは4名で活動しており、ケースカンファレンスで問題点を共有し改善方法を検討しています。また院外の勉強会などにも参加し他施設の医師や看護師と意見交換を行い、禁煙指導能力の向上に努めています。またチームの大きな活動として禁煙キャンペーン・敷地内ラウンド・院内ポスター掲示など様々な啓発活動を行っています。

様々なポスターを貼っています

見たことのあるポスターはありますか?



敷地内ラウンドしています

当院は敷地内全面禁煙となっています。私たちは毎年10月に火ばし・ゴミ袋を持って、病院周辺をラウンドしています。駐輪場・駐車場・生垣周辺などでみられる煙草のポイ捨て状況を確認し、清掃しています。また路上喫煙は通学児童や近隣の皆さんにご迷惑となりますので喫煙中の方がおられると声かけをしています。今後も2020年東京オリンピックに向けて受動喫煙防止に協力していきます。



禁煙キャンペーンについて

毎年、5月31日「世界禁煙デー」に合わせ禁煙キャンペーンを行っています。

正面玄関ロビーでポスターの掲示・パンフレットの配布、期間中は呼気一酸化炭素濃度の測定(無料)と禁煙相談をしています。毎年多くの方がキャンペーンブースに立ち寄り、禁煙に対する意識を高めて帰られます。キャンペーン継続やテレビCMの効果により「世界禁煙デー」の認知度は年々向上しています。



禁煙外来のご案内

禁煙外来を、呼吸器科・内科・循環器科・脳神経外科で実施しています。完全予約制ですのでかかりつけの方は各科外来に相談してください。どの科にもかかっていない場合は呼吸器科で予約が可能ですので、窓口・電話でご相談ください。当院はチャンピックスという内服薬で治療を行います。一部制約がありますのでご相談・ご確認下さい。

禁煙に関心がある方は、専用のパンフレットをお渡ししますので、是非各科外来へお声をかけて下さい。

心不全は日本人の死因として悪性新生物に次ぐ第2位とたいへん予後の芳しくない疾患です。80歳以上の心不全有病率は10%に達すると報告されており、今後の更なる高齢化、長寿化、生活様式の欧米化により心不全患者さんが爆発的に増加する「心不全パンデミック」が訪れることも懸念されています。※1

我々ハートチームは医師、看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士、生理検査技師と多彩な職種で構成されています。定期的に多職種カンファレンスを行い、各職種の専門性を活かして患者さんの早期離床、早期退院から退院後の早期社会復帰、再入院予防を目指して活動しています。



ハートチームでは理学療法士が主体となって入院早期からベッド上でのリハビリ施行に取り組んでいます。心臓リハビリの実施で、安静によって萎縮した筋力を回復し、運動耐容能の指標とされる最大酸素摂取量が15~25%増加すると報告されています。※2 最大酸素摂取量の増加は日常生活のADL (ADL: activities of daily living) を向上させ、再入院を抑制すると報告されています。

当院では看護師と生理検査技師が主体となって急性心筋梗塞後や慢性心不全患者さんの心肺運動負荷試験(CPX: cardio pulmonary exercise test)を積極的に実施しています。CPXによって現時点での運動耐容能を評価し、心機能の低下した患者さんでも心臓に過度の負担をかけることなく安全にリハビリを行っています。外来、入院に関わらずエルゴメーターやトレッドミルによるリハビリを勤めており、年間8000件程度の心臓リハビリを施行しています。

外来リハビリテーションでは、事前に看護師による患者さんとの面談を通じて2次予防へ向けた患者教育、心理、社会的問題に関するカウンセリングを行って、社会復帰を促しています。管理栄養士による栄養食事指導では、患者さんのみならずご家族へも指導を行い、退院後も食事療法実施状況の評価を行っています。薬剤師からは薬効、内服の必要性を指導し、

薬についての質問、相談にも対応しています。月に一度開催される心不全教室では、心不全患者さんを対象として医師、管理栄養士、薬剤師による講義を行っています。

ハートチームは心不全患者さんの再入院を予防し、安定した状態を維持して過ごして頂くことを目的のひとつとして活動しています。

引用文献: ※1 Mizuno M, et al. ATTEND investigators. Clinical profile, management, and mortality in very-elderly patients hospitalized with acute decompensated heart failure: An analysis from the ATTEND registry. Eur J Intern Med 2016; 27: 80-95.

※2 O'Connor CM, et al. Efficacy and safety of exercise training in patients with chronic heart failure: HF-ACTION randomized controlled trial. JAMA 2009; 301: 1439-1450.



作業療法士

リハビリテーション技術科

本田 雄大 Yudai Honda



退院後の生活で困らないために



新聞紙を破る・ボールを移動させるテスト



Q1 どのような業務をされているのですか？
作業療法には、筋力をつける練習・手指の細かな動きの練習や、使いやすいように工夫された道具を使う代償的な方法などがあります。

Q1 作業療法のリハビリについて詳しく教えてください！
リハビリテーション医療には作業療法（OT）・理学療法（PT）・言語療法（ST）があります。作業療法では箸やスプーンを使う・着替えをする・トイレをするなどの日常生活動作を行えるようになること、もしくは介護量を減らすことを目標にリハビリを行います。

手指の細かな動きの練習とは、人工股関節置換術後に生じる脱臼リスクに注意した日常生活の動き方の練習や、自閉症と呼ばれる道具を使用した方が着替えをできるような動かなくなった手を動かす練習などがあります。

道具を使う代償的な方法とは、人工股関節置換術後に生じる脱臼リスクに注意した日常生活の動き方の練習や、自閉症と呼ばれる道具を使用した方が着替えをできるような動かなくなった手を動かす練習などがあります。



たくさんの道具を使って固定具を作る



リハビリ用具を持って患者さんの病室へ



Q3 普段の業務で気を付けていることはありますか？
当院は急性期病院のため入院期間は短いですが、できるだけ患者さんが退院後の生活で困ることがないように、その方がどのような生活をされているのか、これからの生活のためにどのようなことが必要なのかを確認してリハビリを行うよう注意しています。また患者さんの生活を支えるためには医師・看護師をはじめ多職種との連携が重要となるため、作業療法士が脳卒中カンファレンスや認知症チームなどに参加し、積極的にチーム医療に関わるように心がけています。

Q4 これからの展望について教えてください！
作業療法部門は開設から日が浅いため、関わることでできる疾患が脳外科・神経内科・整形外科などに限られています。今後、作業療法士の有効性を知ってもらうことで対象疾患を広げ、より患者さんがスムーズに退院できるように努力していきます。

患者さんにメッセージ

治療や入院生活でリハビリに対して前向きになれない時もあると思います。そのような時にも共に悩み、歩んでいく方法を探すことも我々の役割です。一緒に治療に取り組みましょう。



乳がん看護認定看護師

5階西病棟 副師長

島田 真由美 Mayumi Shimada



安心して治療が受けられるよう一緒に考えサポートします



パンフレットなどでわかりやすく説明しています。

Q1 どのような業務をされているのですか？
乳がん看護認定看護師は、乳がんの治療を受ける患者さんとそのご家族を対象に、治療中に生じる身体的・精神的・社会的問題に対し、専門的な知識や技術を用いて看護を提供する看護師です。具体的には、①治療選択のサポート②乳房切除や化学療法による副作用に対するサポート③治療による副作用に対する症状マネジメントなどを行います。また乳がん看護に携わる看護師への指導や相談により、実践的なケアの向上を図る役割もあります。普段は病棟看護師として勤務していますが、外来で患者さんやご家族が抱える苦痛を軽減し、問題を解決できるように相談を受けています。また毎週火曜日には上肢リンパ浮腫看護ケア外来で、リンパ浮腫に対するケアの方法を提案しています。

Q3 独自の取り組みなどありましたら教えてください！
乳がんの治療は複雑で多岐にわたるだけでなく、治療が長期に及ぶこともあり、治療を継続する中で、患者さんにとって必要なサポートは何かと目指しました。



乳がん術後の補正具などの相談にも行っています。

Q2 資格を取得しようと思ったきっかけは何ですか？
乳がんの治療は手術だけでなく、化学療法や放射線療法、内分泌療法など多岐にわたり、多くは通院で行われます。医療リハビリやリハビリセラピストとして外来治療を受ける患者さんと関わる中で、手術後も様々な症状や悩みを抱えながら治療を継続されていることを知りました。そこで、より専門性を磨くことで何かできることがあるのではないかと考え、認定看護師を目指しました。



乳がん検診の受診を呼びかけ

Q4 これからの展望について
乳がん患者さんは子育て中や働き世代の方も多く、様々な役割を担っておられます。乳がんになっても自分らしい生活を送ることができるようサポートしていきたいと考えています。現在、活動日は限られていますが、乳がん治療を受ける中で困ったことや心配なことが生じた際には、入院・外来に関わらず相談を受けています。そして多職種と協力し、患者さんに寄り添った治療や看護を提供できるよう目指していきます。また、乳がんは

女性がかかるがんの中で最も多く、現在11人に1人が罹患するといわれています。月1回の乳がん自己検診と40歳以上の女性の方は2年に1回の乳がん検診を受けていただけるよう啓発活動も継続していきます。
※医療リハビリセラピストとは、がんの手術後に起きるリンパ浮腫に対して、医師の診断および指示に基づき、生活指導、リンパ浮腫保存的治療である『複合的理学療法』により治療を行う施術者

患者さんにメッセージ

乳がんの治療を決定、継続するには患者さんご自身が治療について十分に納得、理解いただくことが大切です。治療に対するご不明な点や気がかり、苦痛など、お困りのことがございましたらお気軽にお声をかけてください。





4月 救命救急科の名称変更

4月1日より救命救急科はERとの連携強化を目的に「ER・救命救急科」へと名称変更を行いました。



7月 サマーコンサート開催!

今年是世界中で活躍されているピアニストの西川悟平さんをお招きしました。西川さんは、ジストニアという病気になり指が動かない状態となりながらも懸命なリハビリにより現在は7本の指を動かしピアノを演奏するまでに至ったそうです。当日は有名なクラシックの楽曲や西川さんの楽しいトークでコンサートは大盛況でした。



5月 禁煙・脳卒中キャンペーン実施!

呼気一酸化炭素濃度測定や脳卒中チェックシートによる簡易判定などを実施し、多くの方々にお立ち寄りいただきました。



6月 リボズハウスイベントを実施しました!

6月3日(土)、NPO法人キャンサーリボズ協賛イベント『がんとともに働き、暮らす』を実施しました。特別公演には昨年大好評だった社会保険労務士の関先生より「がんを抱えながら働くこと」についてお話頂きました。その他には医師や看護師の相談コーナーや様々な体験コーナーを設け、多くの患者さんや家族の方々にご参加いただきました。



9月 創立80周年記念式典を開催しました

9月16日(土)、天王寺都ホテルにて大阪警察病院創立80周年記念式典および祝賀会を開催しました。当日はご来賓の方々や当院職員合わせて222人が参加し、慶びとともに式典を祝いました。式典では院長の式辞に続き、来賓の方々による祝辞、乾杯後の祝宴ではスーパーストリングスコーペの皆さんによる素晴らしい演奏や、当院の80年のあゆみについての講演が行われました。また、送賓の際には当日の様子がまとめられたエンドロールが流れるなど盛りだくさんな内容で、終始華やかな雰囲気の中で幕を下ろしました。当院はこれからも全職員が一丸となり、さらなる発展を目指します。



わかれば簡単! 医療用語

第4回

知って得する!

臨床検査

~検体検査~



監修 大阪警察病院
臨床検査科
副部長 有田 勝

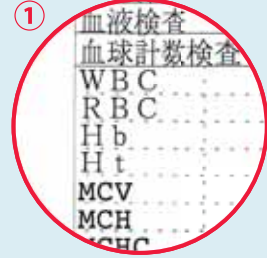
「よく耳にするけど、どういう意味なのかな…」という医療用語を解説していきます!

臨床検査とは

臨床検査には検体検査と生体検査があります。検体検査とは患者さんから取り出した材料(血液・尿)を用いて行う検査のことです。また生体検査とは、心電図や超音波検査など患者さんの体に直接触れて行う検査のことです。今回は検体検査について紹介していきます。

血液検査

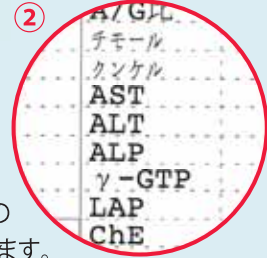
血液検査とは、採取した血液の赤血球や色素から貧血の程度を、白血球の量から炎症の程度などを把握する検査のことです。



検査項目	基準値	詳細
WBC 白血球数	3.5~9.8×1000/μl	様々な種類があり(分画)、外部から体内に侵入した細菌などの異物を排除します。
RBC 赤血球数	4.27~5.70×100万/μl	全身に酸素を運び、二酸化炭素を回収する働きがあり、貧血の目安となります。

生化学検査

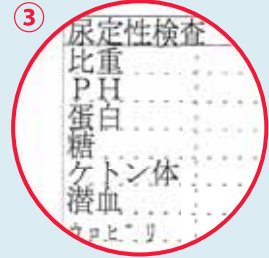
生化学検査とは、採取した血液から臓器の異常を把握する検査のことです。生化学検査では、臓器ごとに異なる検査項目があり、例えば下記のASTやALTは肝臓機能の指標となります。



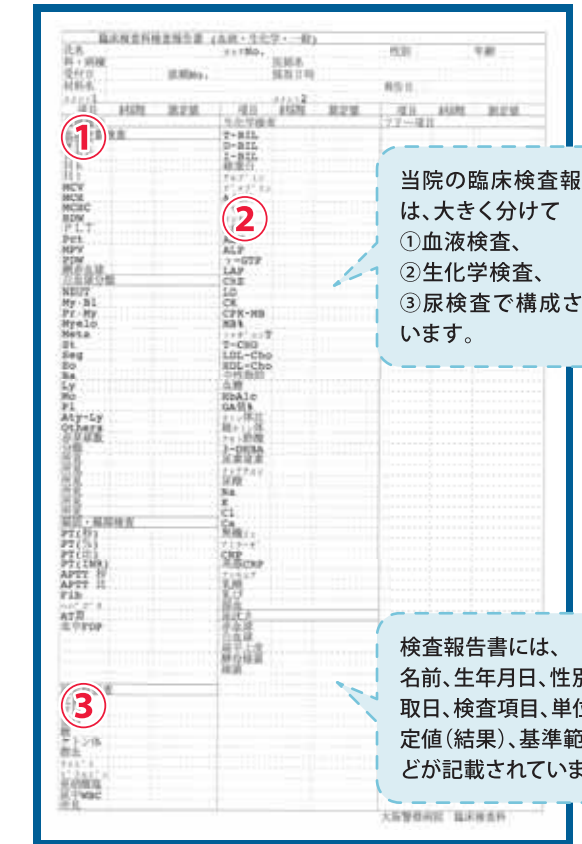
検査項目	基準値	詳細
AST	10~33U/L	どちらも肝臓の細胞に多く含まれる酵素です(ASTは心臓や筋肉にも存在します)。肝臓に障害があると細胞が壊され血液中の濃度が高くなります。
ALT	6~35U/L	

尿検査

尿検査とは、採取した尿から成分を調べることで、腎臓や肝臓の異常を把握します。例えば下記の尿たんぱくでは腎臓の状態、潜血では腎臓や膀胱などの状態がわかります。



検査項目	基準値	詳細
たんぱく 尿蛋白	(-)	腎臓に入ってくる血管に動脈硬化があったり、腎臓のろ過機能が低下した場合、また、尿管や膀胱に出血がある場合、血球成分やたんぱく質が尿中に排出されます。
潜血	(-)	



① ② ③
当院の臨床検査報告書は、大きく分けて
①血液検査、
②生化学検査、
③尿検査で構成されています。

③
検査報告書には、
名前、生年月日、性別、採取日、検査項目、単位、測定値(結果)、基準範囲などが記載されています。

※当院で発行している検査結果の用紙です。

今回ごく一部の検査項目を紹介しました。基準値というのは一般の健康な人の年齢や性別と相対した平均的な値のことです。疾病や疾患によっては体に異常があったとしても正常値を示す場合、逆に正常であっても異常値を示す場合があります。疑問点については医師や看護師に質問しましょう。

OPH クロスワード

	1	2	3		4	
5					6	7
	8				9	
	10					
11			12		13	
		14		15		
16				17		

横のキー

- 大根おろしを作るときに使う道具は？
- スペイン語で「友人」は？
- 茨城県にある「五霞町」の「五霞」の読みは？
- 渦巻模様のあるかまぼこは？
- 豚肉を揚げたものを「○○カツ」といいます。
- 電車はここに停まります。
- 「柳葉魚」の読みは？
- 銀行にお金を預けるとコレがつきます。
- イタリアの「水の都」とも呼ばれる都市は？
- 冬はここでみかんを食べたいです。
- 何かを成し遂げるには○○○が伴います。

縦のキー

- 「女郎花」の読みは？
- ひき肉をキャベツで包んで煮込んだ料理は？
- これをしないとお給料がもらえません！
- 眠っているときに無意識で発する言葉は？
- 着物のときにこの髪飾りをつけると素敵です。
- 甘く煮た小豆汁の中に白玉や餅を入れたものを「お○○○」といっています。
- 睡蓮をモチーフにした絵を多く残した印象派の画家は？
- 複雑に入り組んだ海岸を「○○○海岸」といいます。
- 首都がサンティアゴ・デ・チレの国は？

A	B	C	D	E	D

アルファベットの書かれたマスに文字を入れてみよう！答えは11ページ！！

大阪警察病院付属

人間ドッククリニックからのお知らせ

仕事や家事・育児で平日お忙しい女性の方へ朗報です!!

『女性健診』と『胃カメラ検査』の土曜日枠が拡大しました!!

- 女性健診 乳がん検診…… 乳腺エコー、マンモグラフィー
子宮がん検診…… 内診、頸管細胞診
- 胃カメラ検査 オプションで鎮静剤を追加することもできます

ご予約ダイヤル 月～金 8:30～17:00
土 8:30～12:00

☎ 06-6775-3131

日中のご予約が困難な方は、
『24時間受付可能なインターネット予約』が
便利です。

警察病院 ドック 🔍 検索



平成30年度

看護学生募集!

～いのちのプロになるんだ～

募集人員

80名(一般40名・推薦30名・社会人10名)

願書受付期間

試験日

推薦

2017/10/12(木)～2017/10/20(金)

2017/10/28(土)

社会人

【前期】2017/12/1(金)～2018/1/4(木) 【前期】2018/1/10(水)・1/11(木)
【後期】2018/2/9(金)～2018/2/21(水) 【後期】2018/3/1(木)

一般



「愛・熱・和・仁」の精神を受け継ぐ
伝統ある学校で学ぼう!
志のある皆さんをお待ちしています

詳しくはHPをご覧ください!

大阪警察病院看護専門学校 🔍 検索



大阪警察病院看護専門学校

検索

TEL:06-6626-6701・6700 FAX:06-6626-6702



いつもご愛読ありがとうございます。

朝晩がめっきり涼しくなりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

先日、当院の記念誌編集チームが中心となり、創立80周年記念誌の編纂を行いました。当院80年の歴史を紐解くと、大阪大空襲の戦火を乗り越えたこと、度重なる増改築で病床を増やしてきたことや新病院の建設など、実に様々な出来事があり、患者さんや住民の皆さんに支えられ続けた結果、現在の警察病院があることがよくわかりました。

また記念誌作成に当たっては、創立当初(80年前)に在籍していた方より当時のアルバムをお借りすることができ、貴重な資料の数々にチーム内では感嘆の声が上がりました。今回の編纂で使用した古い資料を見ながら、現在の警察病院についてもきっちりと文字と写真で残しておく必要があるなど感じました。(S.F)

企画調整課では「みんなのけいびょうニュース」に関する様々なご意見・ご感想を募集しています。あったらうれしい企画などがありましたら当院1階ご意見箱へどうぞ。



大阪警察病院

発行：企画調整課

〒543-0035 大阪市天王寺区北山町10-31

TEL：06-6771-6051 FAX：06-6775-2838

http://www.oph.gr.jp